

ほくほくフィナンシャルグループ 会社説明会資料

2018年7月



ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

(東証1部、札証証券コード:8377)

目次

・はじめに		2	・コンサル営業の強化		18
【ほくほくフィナンシャルグループの概要】			・住宅ローンの増強		19
・プロフィール		3	・預かり資産営業の強化		20
・国内・海外の拠点		7	・新規顧客獲得と積立型商品の推進		21
・地域シェア		8	・働き方改革		22
【2018年3月期決算の概要】			・店舗戦略		23
・損益		9	・人財育成		24
・北陸銀行 業績		10	・FinTechへの取り組み		25
・北海道銀行 業績		11	・ESGへの取り組み		26
・預金・貸出金		12	・業績予想		28
・有価証券		13	・中計項目の見通し		29
・与信費用・不良債権		14	【資料編】		
・自己資本比率		15	・ほくほくFG株価の推移		30
【経営戦略】			・主要経営指標の推移		31
・外部環境・金融規制環境の変化		16	・地域経済の状況		34
・中期経営計画		17	・SDGs		35

本資料の「2行合算」の計数および各比率は、子銀行2行の決算数値の単純合計をベースに記載しております。決算短信等における「2行合算」では、「その他証券利息」および「不良債権処理額」について、合計値の正負により計上科目の調整を行っているため、本資料と異なる集計となっております。

はじめに

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を实践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追及し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ほくほくフィナンシャルグループの概要



＜富山大橋より＞

プロフィール（ほくほくフィナンシャルグループ）



＜立山連峰＞富山県



＜富良野の花畑＞北海道



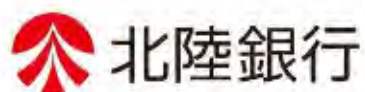
設立 : 2003年
 本店所在地 : 富山市
 資本金 : 708億円
 自己資本比率 : 9.49%
 格付 : A (R&I)
 (2018年3月末現在)

地方銀行 総資産ランキング

	総資産 (単位：億円)		構成行
1位	ふくおか F G	201,636	福岡銀行、熊本銀行、親和銀行
2位	コンコルディアFG	186,605	横浜銀行、東日本銀行
3位	めぶき F G	167,698	常陽銀行、足利銀行
4位	千葉銀行	143,818	
5位	ほくほくFG	129,962	北陸銀行、北海道銀行
6位	静岡銀行	115,327	
7位	山口 F G	103,665	山口銀行、北九州銀行、もみじ銀行
8位	九州 F G	100,840	肥後銀行、鹿児島銀行
9位	西日本 F H	99,616	西日本シティ銀行、長崎銀行
10位	北洋銀行	95,005	

※各行決算短信より当社作成(連結ベース)

プロフィール（北陸銀行）



北陸銀行

（2018年3月末現在）

設立：1943年（創業1877年）

本店所在地：富山市

店舗数：国内187（支店145・出張所42）
海外6

従業員数：2,754人

資本金：1,404億円

自己資本比率：9.02%

格付：A（R&I）・A-（S&P）

＜北陸銀行オリジナルキャラクター＞



ほくまる



りくひめ



くりじい

【北陸銀行の特徴】

創業は1877年に遡り、北陸3県に加え、北海道や三大都市圏にまたがる広域店舗網を持ち、幅広いネットワークを活用した業務を展開しています。



プロフィール（北海道銀行）



【北海道銀行の特徴】

戦後復興期、北海道の旺盛な資金需要に応えるべく、北海道内中小企業者の強い要望により設立。どさんこバンクとして北海道に根差した業務を展開しています。



（2018年3月末現在）

設立：1951年

本店所在地：札幌市

店舗数：国内142(本支店136、出張所6)
海外3

従業員数：2,357人

資本金：935億円

自己資本比率：9.28%

格付：A（R&I）・A（JCR）

<北海道銀行オリジナルキャラクター>



タロー



ハナコ

プロフィール（グループ企業）



（2018年3月末現在）

国内・海外の拠点

国内拠点 329カ店

北海道 159カ店

(北海道BK:140店、北陸BK:19店)

北陸3県 150カ店

富山...92
石川...36
福井...22
(北陸BK:150店)

三大都市圏 14カ店

東京...8
(北陸BK:7、北海道BK:1)
愛知...3
大阪...3

その他...6カ店

(仙台、横浜、新潟、長野、
高山、京都)

海外拠点 9事務所



<駐在員事務所>

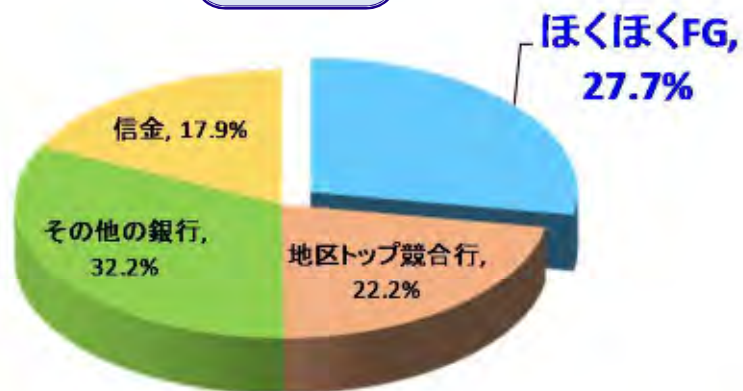
- | | |
|---------|------------|
| ①ニューヨーク | ⑥大連 |
| ②ロンドン | ⑦瀋陽 |
| ③バンコク | ⑧ウラジオストク |
| ④シンガポール | ⑨ユジノサハリンスク |
| ⑤上海 | |

(2018年3月末現在)

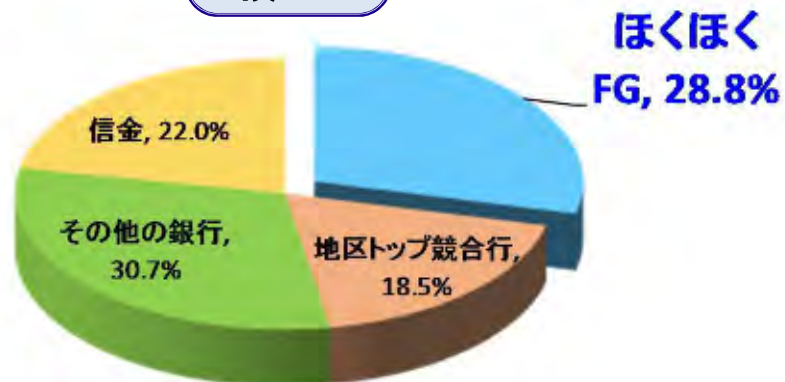
北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

北陸三県（富山、石川、福井）

貸出金

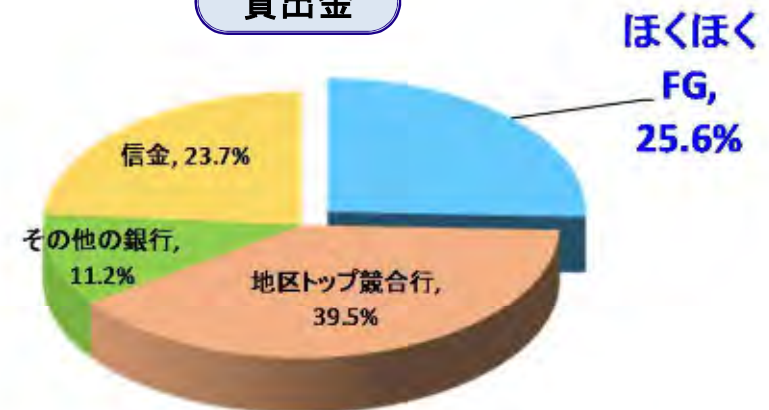


預金



北海道地区

貸出金



預金



※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

2018年3月期決算の概要

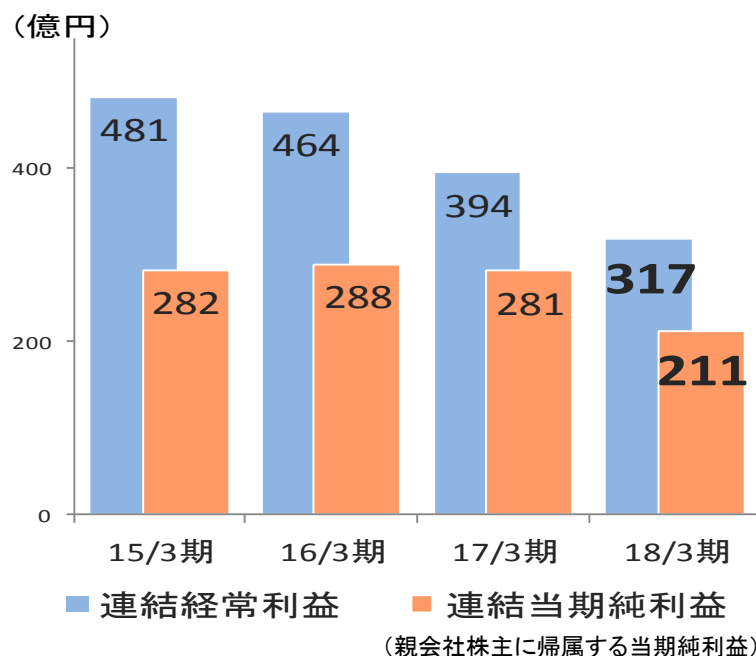


<羊蹄山>

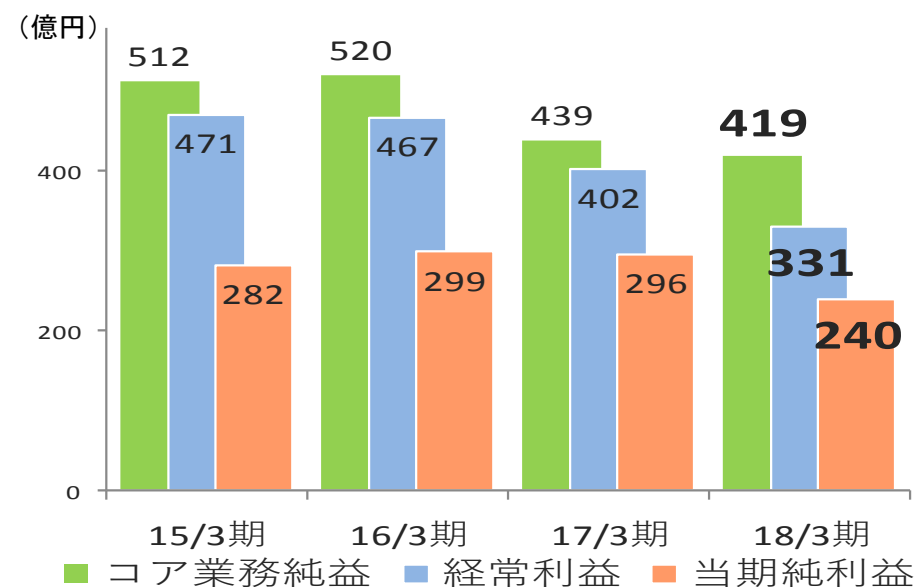
損 益

連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)は、前期を69億円下回る**211億円**にとどまったが、配当は前期と同額 1 株あたり **44円** を維持。

損益<フィナンシャルグループ連結>



損益<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



株主還元・配当

(円)

11/3~13/3 期	14/3 期	15/3~16/3 期	17/3期	18/3期
37.50	40.00	42.50	44.00	44.00

2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。
(左記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。)

コア業務純益は、資金利益の減少により、前期比9億円減少
 当期純利益は、前期比29億円減少するも、期初予想を上回る157億円を確保

(億円)

【北陸銀行】	18/3期			17/3期
	期初予想	実績	増減額	
コア業務粗利益	705	712	△ 16	729
資金利益		611	△ 16	628
うち貸出金利息		465	△ 22	488
うち有価証券利息		181	10	170
役務取引等利益		91	0	90
その他業務利益		9	△ 1	10
経費 (△)	490	475	△ 7	482
うち人件費		240	△ 4	245
うち物件費		199	△ 2	201
コア業務純益	215	237	△ 9	247
有価証券等関連損益		21	18	3
与信費用 (△)	20	18	25	△ 6
経常利益	215	241	△ 6	248
特別損益		△ 18	△ 11	△ 7
法人税等 (△)		64	10	54
当期純利益	145	157	△ 29	187
自己資本比率		9.02%	0.28%	8.74%
OHR		66.67%	0.55%	66.12%

<資金利益>

貸出金利息の減少を、有価証券利息の増加で一部カバーし、前期比16億円減少

<役務取引等利益>

保険販売手数料の減少を法人関連手数料の増加等でカバー

<経費>

人件費、物件費とも減少

<有価証券損益>

外国証券等の売却損を株式売却益でカバー

<与信費用>

貸倒引当金の増加により18億円を費用計上

<当期純利益>

資金利益の減少をカバーし切れず、前期比29億円減少

コア業務純益は、資金利益の減少により、前期比10億円減少
当期純利益は、有価証券の損失計上により、期初予想を下回る82億円

(億円)

【北海道銀行】	18/3期			17/3期
	期初予想	実績	増減額	
コア業務粗利益	615	595	△ 13	608
資金利益		513	△ 20	533
うち貸出金利息		434	△ 7	442
うち有価証券利息		84	△ 12	96
役務取引等利益		76	△ 11	87
その他業務利益		5	19	△ 13
経費 (△)	435	413	△ 2	415
うち人件費		188	0	187
うち物件費		194	△ 2	197
コア業務純益	180	182	△ 10	192
有価証券等関連損益		△ 92	△ 73	△ 19
与信費用 (△)	20	△ 12	△ 12	△ 0
経常利益	145	89	△ 63	153
特別損益		22	24	△ 2
法人税等 (△)		29	△ 12	42
当期純利益	100	82	△ 26	109
自己資本比率		9.28%	△0.06%	9.34%
OHR		69.35%	1.02%	68.33%

<資金利益>

貸出金利息および有価証券利息の減少により、前期比20億円減少

<役務取引等利益>

ローン保険料・保証料の増加により、前期比△11億円

<経費>

物件費の減少を主因に前期比△2億円

<有価証券損益>

外国証券等の売却により92億円の損失

<与信費用>

貸倒引当金の減少により12億円の戻り益

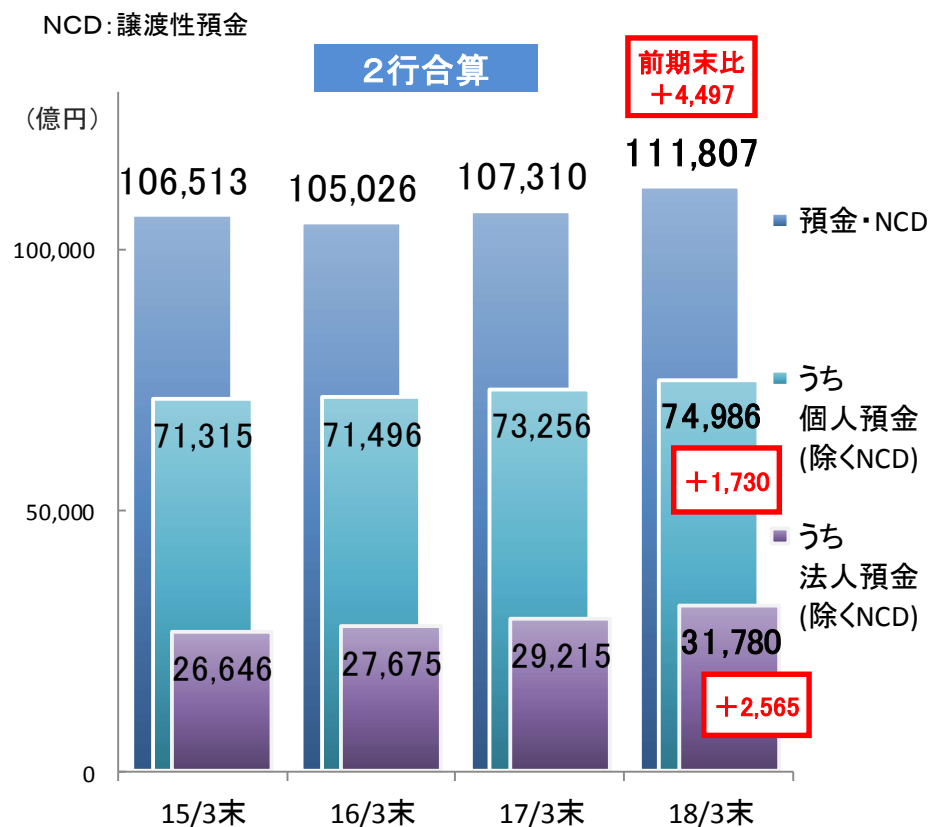
<当期純利益>

資金利益の減少、有価証券の損失計上により、前期比26億円減少

預金・貸出金

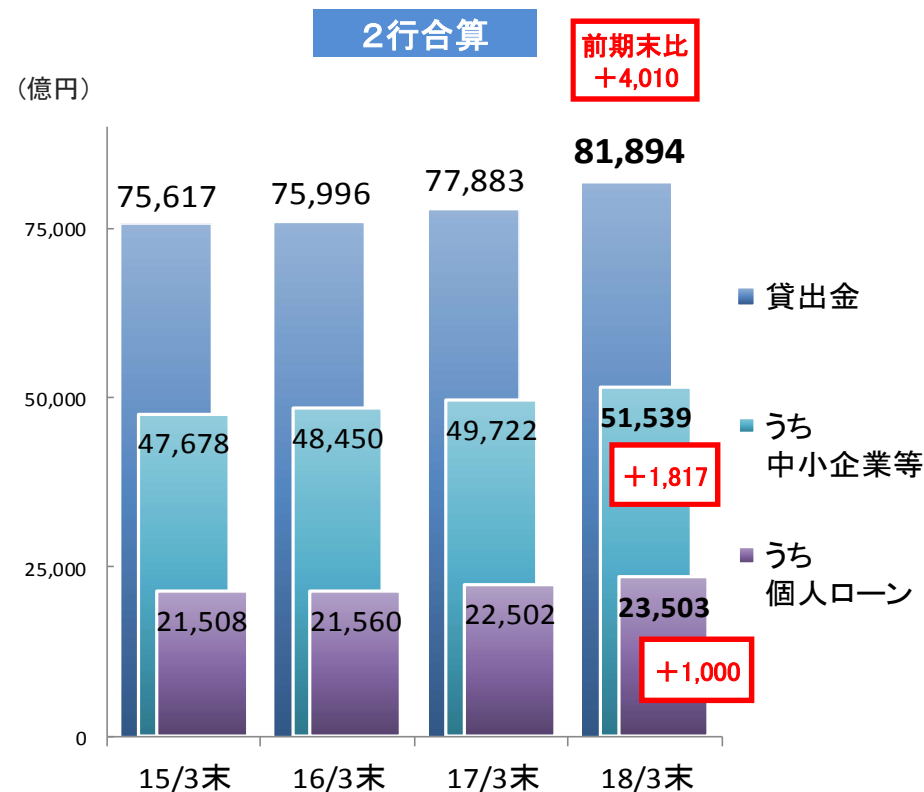
預金は、11兆1,807億円、前期末比+4,497億円、年間増減率+4.1%
貸出金は、8兆1,894億円、前期末比+4,010億円、年間増減率+5.1%

預金・NCD



- 個人預金・法人預金とも増加

貸出金

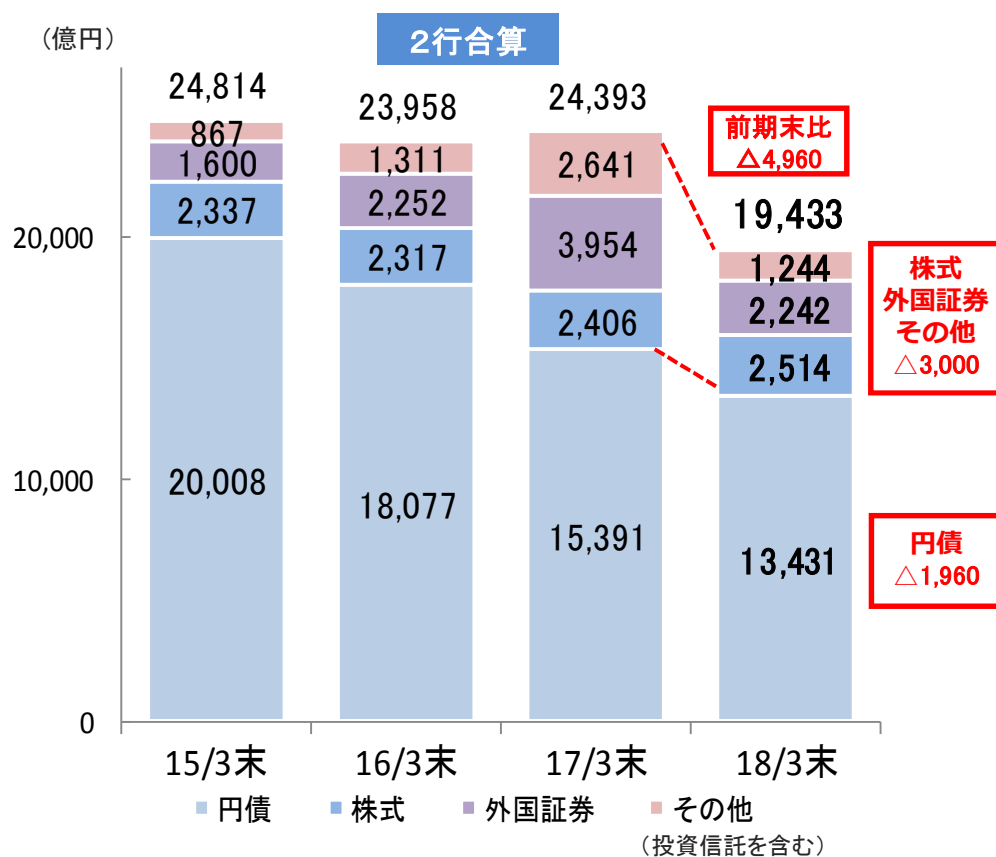


- 中小企業向け貸出・個人ローンとも堅調に増加

有価証券

有価証券残高は、1兆9,433億円（前期末比△4,960億円）
評価損益は、1,240億円（前期末比＋109億円）と拡大

有価証券残高



有価証券の評価損益

【有価証券の評価損益】（億円）

	18/3末	前期末比	17/3末
有価証券	1,240	109	1,130
円債	195	△ 81	276
株式	1,064	93	970
その他	△ 19	97	△ 116

円債＝国債＋地方債＋社債

その他…外国証券・投資信託を含む

【円債】

低金利環境につき新規購入を抑制

【株式】

株式の評価損益は大きく増加

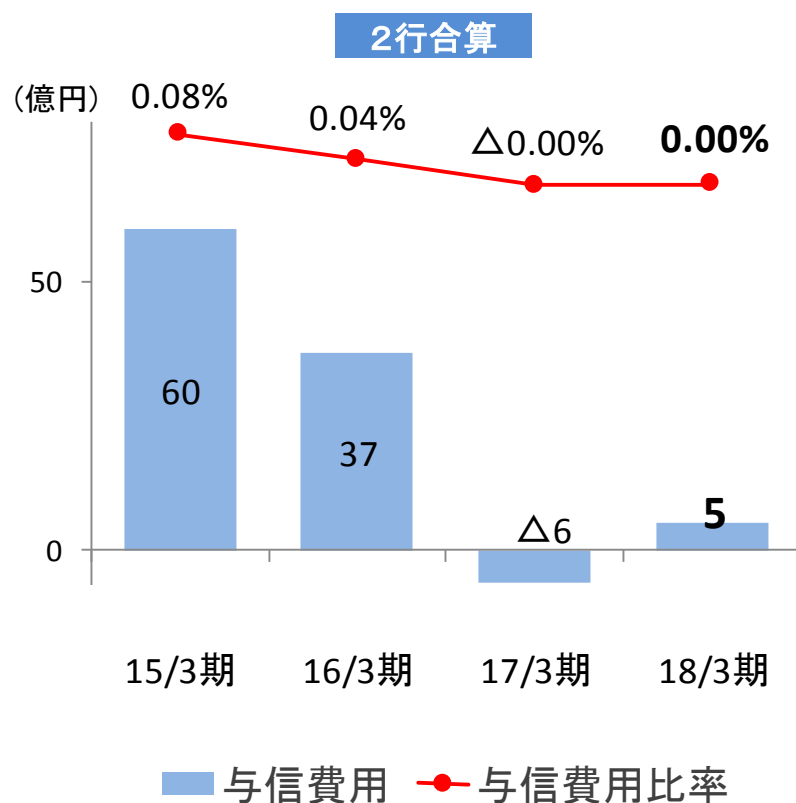
【その他】

米国の急速な金利上昇を受けて外国証券や投資信託の売却を行い含み損を圧縮

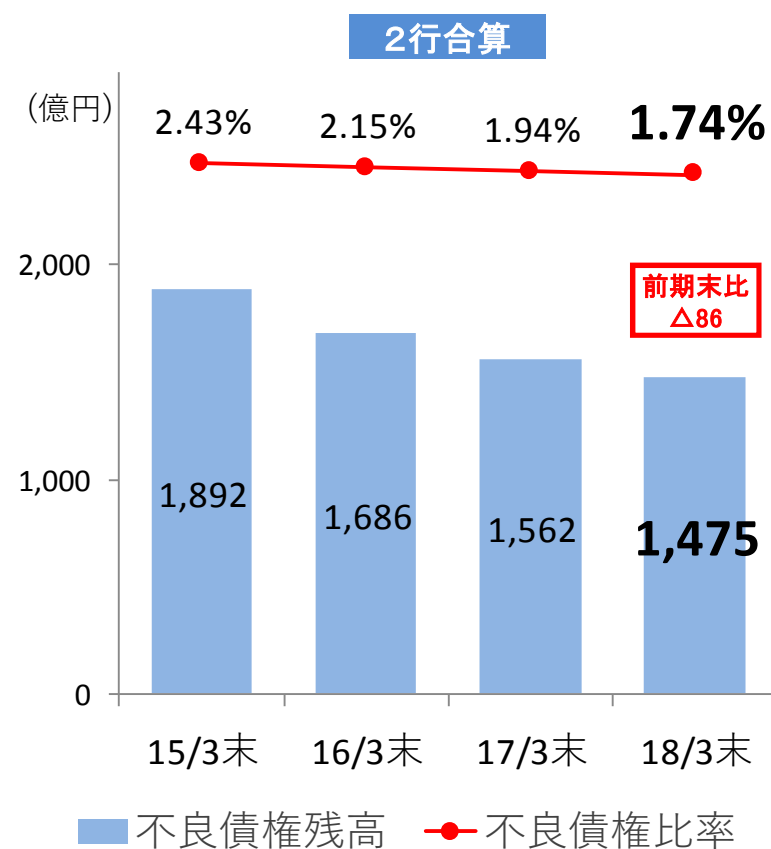
与信費用・不良債権

与信費用5億円、与信費用比率0.00%、不良債権残高は前期末比△86億円、不良債権比率は0.2%改善

与信費用・比率



不良債権残高・比率

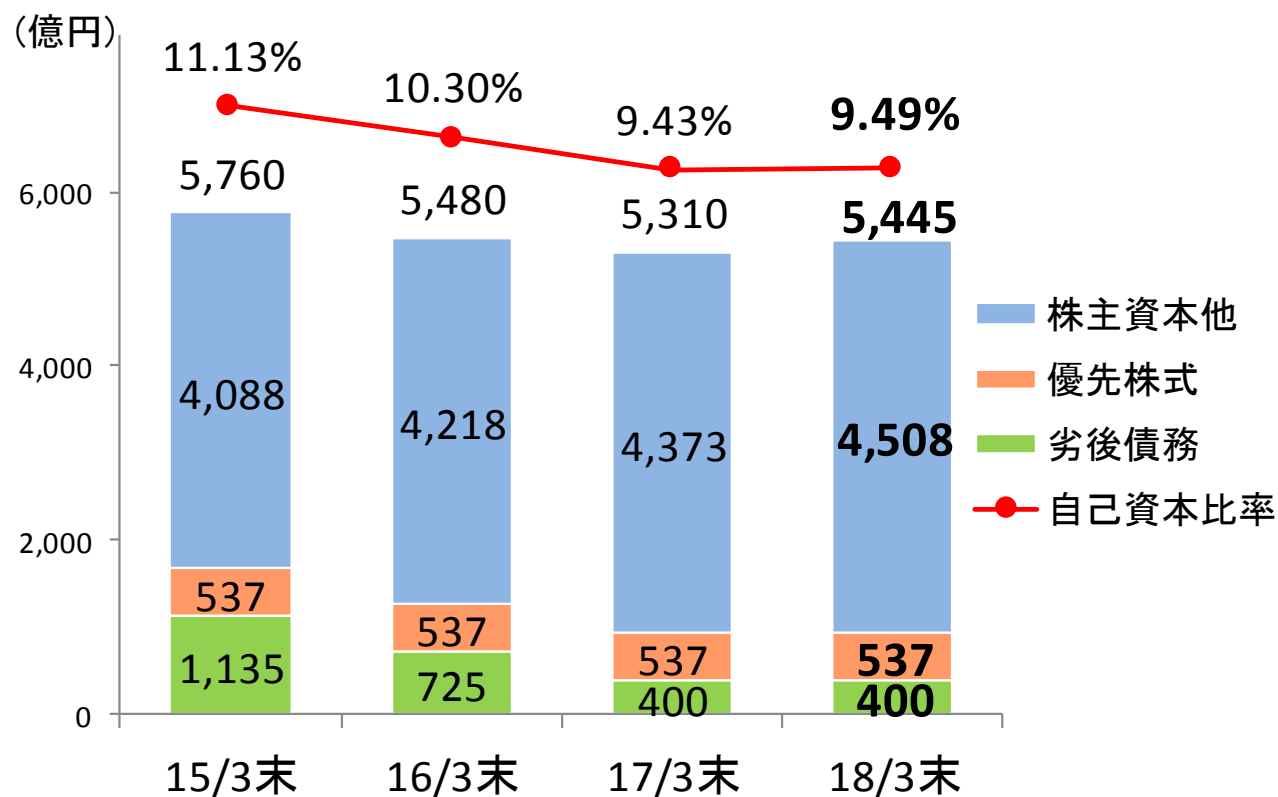


自己資本比率

自己資本比率は、9.49%、前期末比+0.06%

利益剰余金の積み上げにより自己資本が増加し、自己資本比率は前期末比で上昇

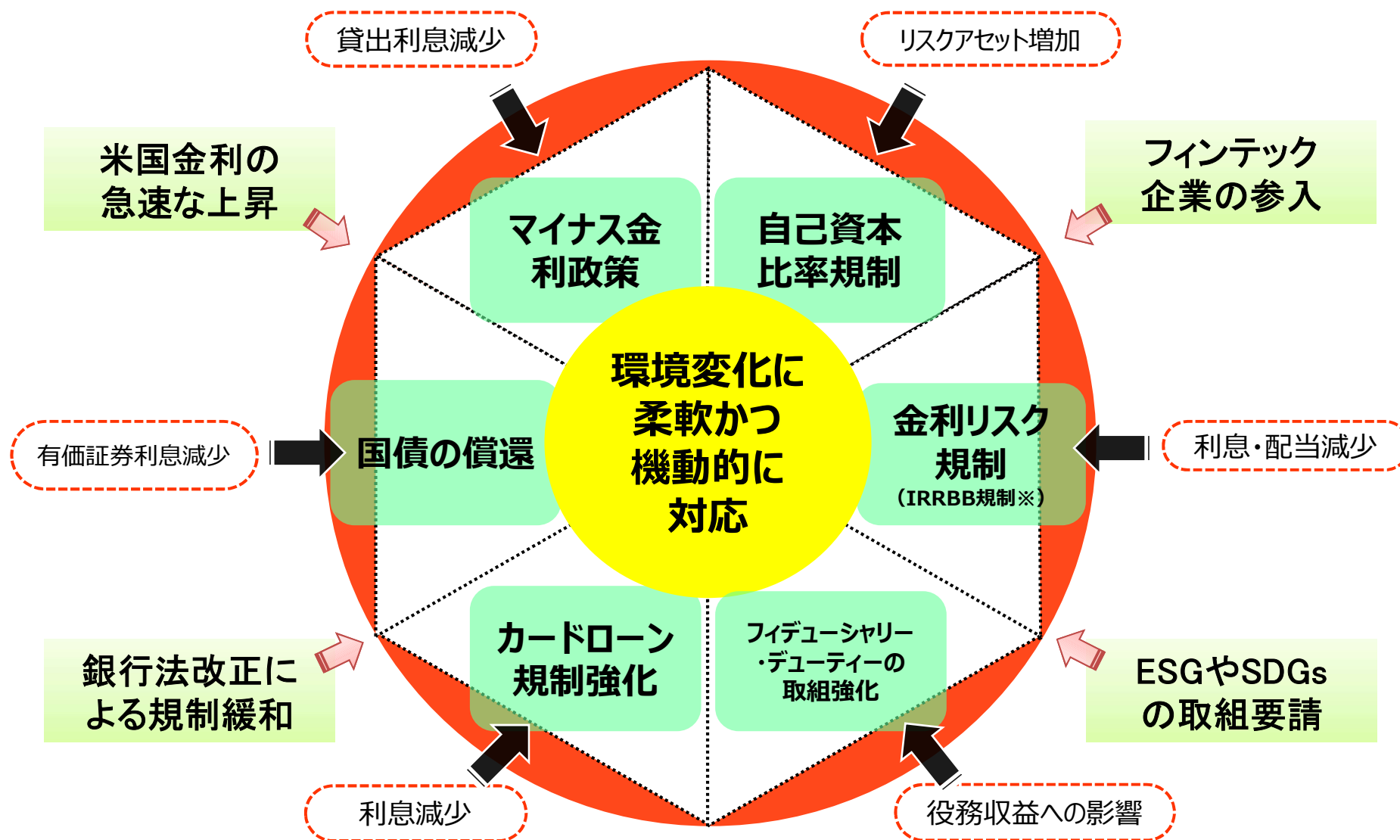
自己資本・自己資本比率<フィナンシャルグループ連結>



経営戦略



<白山>



(※) IRRBB規制・・・国内基準行は2018/3末基準より試行開始、2019/3末基準から正式導入される、銀行勘定の金利リスクにかかる規制。

中期経営計画 (BEST for the Region)

2018年度は第3次中期経営計画の締めくくりの年度
基本戦略の三本柱に基づく重点施策の総仕上げを着実に実施

“BEST for the Region” (2016年4月～2019年3月)

お取引先の役に立つ商品・サービスやコンサルティング機能の提供 (Beneficial)、グループの業務集約やエリア営業体制の拡充等による効率的な経営体制・営業体制の整備 (Efficient)、着実な収益の積み上げによる健全で信頼される経営基盤の確保 (Sound & Trustworthy) により地域No.1の金融グループを目指す

＜基本戦略＞

営業力の強化

経営の効率化

経営基盤の強靱化



＜重点施策＞

- ◆ コンサル営業の強化
- ◆ 住宅ローンの増強
- ◆ 預かり資産営業の強化
- ◆ 新規顧客獲得と積立型商品の推進
- ◆ 働き方改革
- ◆ 店舗戦略
- ◆ 人財育成
- ◆ FinTechへの取り組み

コンサル営業の強化

◆ ソリューション提供による企業価値の向上

→人材マッチング、後継者育成、生産性向上へのサポート

◆ M&A、事業承継などのコンサル営業強化

→コンサルティング営業部の新設(2018.6 北陸銀行)

◆ 事業性評価を活用した融資先の増加

→事業性評価のノウハウ定着化(個社別検討会、外部コンサル機関活用)

➡ コンサル営業による法人関連手数料の増強

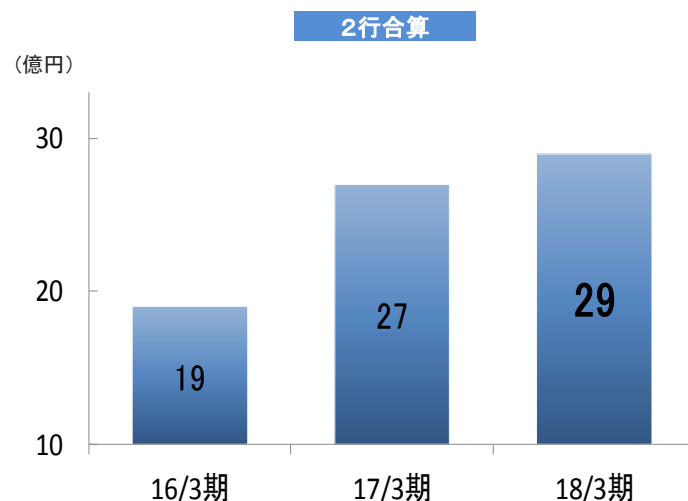
北陸銀行	18年6月にコンサルティング営業部を新設。コンサルティング部門を108名(17/9末)→140名(20/3末)に増強予定
------	--



＜東証連携によるIPOセミナー開催＞

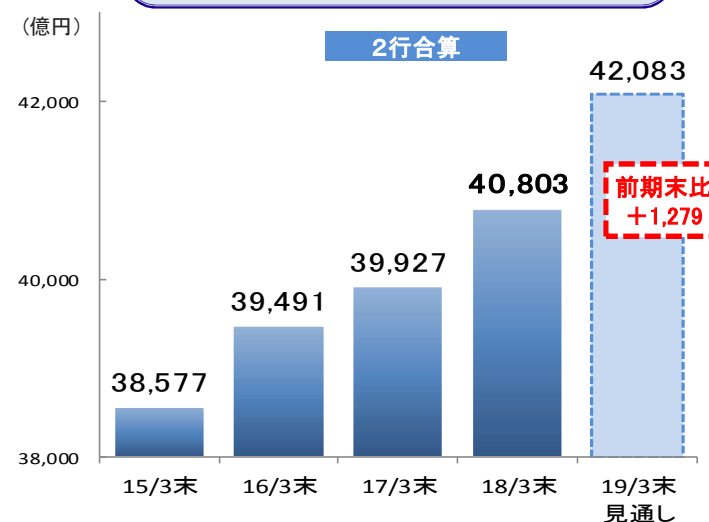
北陸銀行・北海道銀行は、東京証券取引所と資本市場の活用等による地域活性化についての連携協定を締結(2017.7)し、各地域にてIPOセミナーを開催している。

法人関連手数料



※法人関連手数料…私募債、シンジケートローン、コンサル(M&A、事業承継など)、ビジネスマッチングに関する手数料

事業性貸出残高



住宅ローンの増強

◆ ローンプラザによる推進

→ローンプラザを中心に住宅業者様との連携強化

◆ 住宅ローン相談会の実施

→休日ローン相談会によりお客さまとの接点強化



他行シェア奪取により顧客取引基盤
となる住宅ローンの取り込み

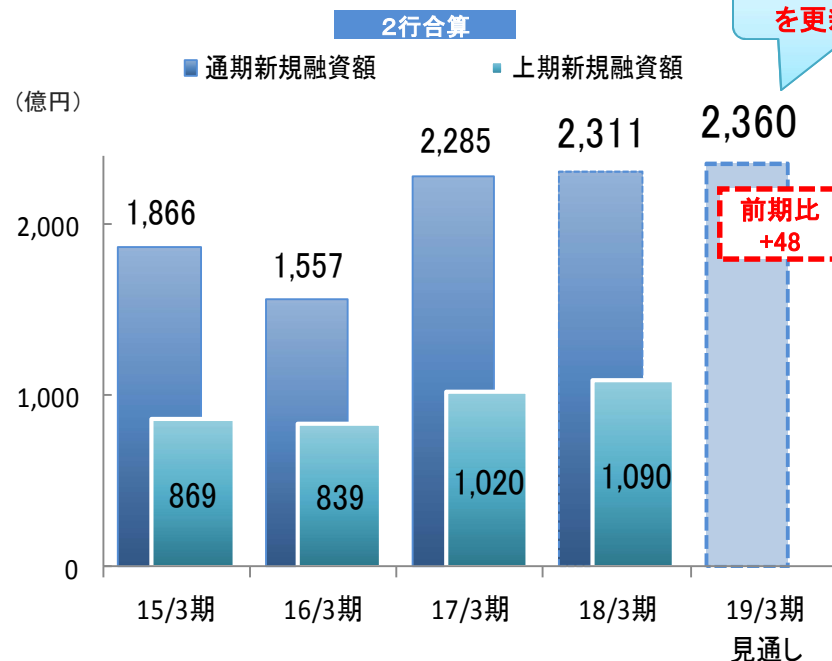


住宅ローンプラザ

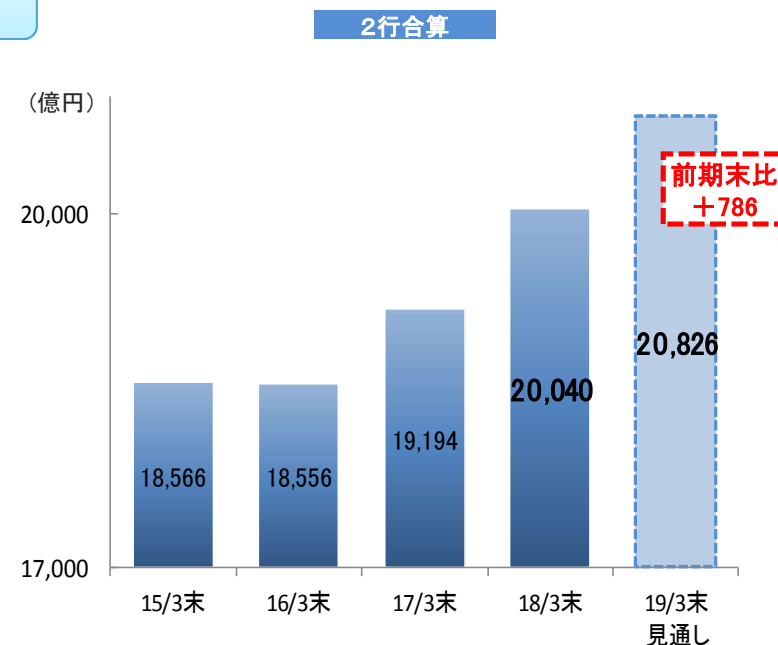
北陸銀行	ほくぎんローンプラザ49カ店 (うち21カ店で休日営業)
北海道銀行	道銀住宅ローンプラザ12カ店 (うち2カ店で休日営業)



住宅ローン 新規融資額



住宅ローン 残高



預かり資産営業の強化

◆ ほくほくTT証券との連携

→5カ店に増えたほくほくTT証券との連携による預かり資産販売増強

◆ 預かり資産販売担当者の戦略的配置

→プライベートバンキングセンターに預かり資産販売担当者を集約

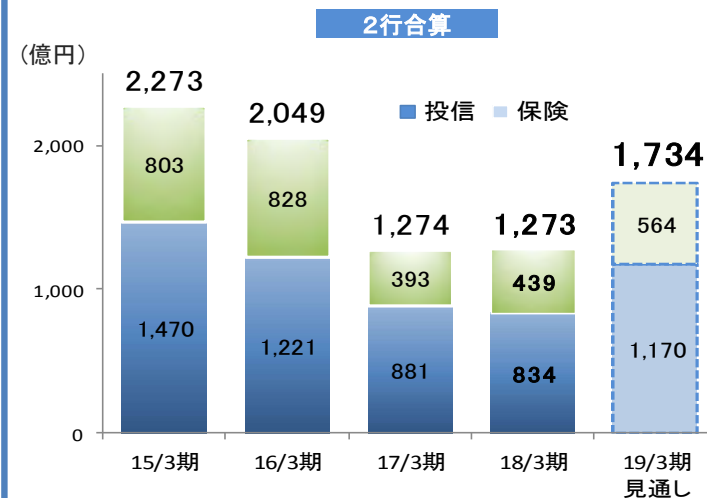
北海道銀行	プライベートバンキングセンターに110名を集約。18年度に8センター体制とし札幌市全域をカバー。
-------	--



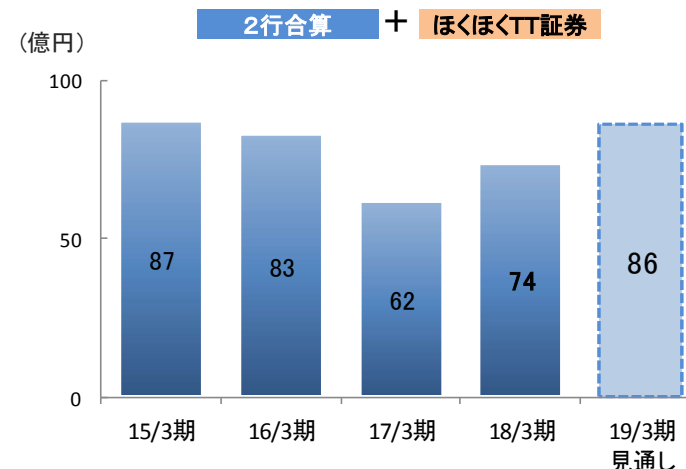
銀行・保険・証券のワンストップサービス拠点
「ほくほくTT証券札幌営業部」「道銀住宅ローン
プラザ大通」「どうぎん保険プラザ大通」を併設。隣
接する北海道銀行本店を含め、金融のワンストップ
サービスを北海道内に本店を置く金融機
関で初めて開設。(2017.7)



投資信託・保険 販売額



預かり資産 販売収益額



ほくほくTT証券 新店舗



<旭川支店> 2017.12.4 開設



<福井支店> 2018.2.5 開設

新規顧客獲得と積立型商品の推進

◆ 積立型商品の推進

→お客さまの資産形成につながる積立型商品の推奨

◆ キャラクターの活用

→若年層との接点強化を通じ、給振などメイン取引獲得を図る

◆ スマホアプリの利便性向上

→複数口座の確認機能、指紋認証機能の追加、デザイン性の向上



好評
取扱中

Android iPhone
スマートフォン向けアプリ
どうぎんアプリ

残高は、いつでもどこでもすぐ見たい

通帳いらず！残高・明細をいつでもチェック



北陸銀行
ポータルアプリ
「北陸銀行ポータルアプリ」はスマートフォン
向けのアプリです。申込書類などは不要です。
ご利用の際はダウンロードをお願いいたします。
ご利用の際は、必ずご利用ください。



積立型の商品の提案
により、お客さま層が
着実に拡大



北陸銀行新キャラクター「くりじい」

【2行合算】	(千先)		
	18/3末	増減	17/3末
積立型投信 契約者数	23.4	7.7	15.7
NISA利用者数(※)	47.3	4.8	42.4
うち つみたてNISA利用者数	1.2	—	—
確定拠出年金加入者数	40.8	9.0	31.8

※NISAを利用して実際に投信を購入した先数

◆ 働き方改革

→業務の効率化(スリム化)、時間管理の徹底、
RPA(Robotic Process Automation)化の検討・実現

◆ タブレット端末の活用

→預かり資産販売への活用(保険販売の電子化)、会議のペーパーレス化



＜タブレット端末による渉外活動＞

北陸銀行・北海道銀行は、2017年5月よりタブレット端末を利用した投資信託の申込受付を開始。

本部業務の見直し・効率化

- ・本部定型業務の廃止を含めた見直し
- ・RPAの導入によるパソコン定型業務の自動化
- ・行内イントラ活用による会議のペーパーレス化

ほくほく業務統一化への取組み
(業務・サブシステムの統一化)

営業店業務の効率化・集約化

- ・営業店後方事務集約化の推進(対象店の拡大、本部集中事務の拡大)
- ・新営業店端末を活用した事務効率化と堅確化の実現
- ・プライベートバンキングセンターの拡大による渉外活動の効率化
- ・保険販売の電子化によるペーパーレス化

◆ 営業店業務の軽量化

→サポートオフィスによる営業店後方事務の集中化促進

◆ 戦略部門への人員再配置

→コンサルティングや預かり資産販売などに人員を再配置

◆ 営業店の営業形態の見直し

→店舗統廃合、新エリア営業体制、ミニマム運営体制への移行を順次進める

◆ 一部店舗における窓口休業時間の設定

→北陸銀行で先行し7店舗導入、北海道銀行でも14店舗導入

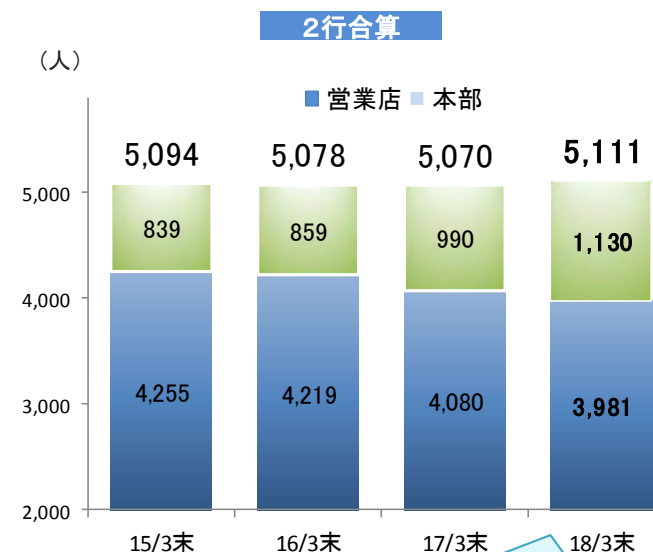
<窓口休業時間の導入店舗>

北陸銀行	宇奈月支店、東篠路出張所、野町出張所（以上2017年6月より） 月岡出張所、津沢支店、西高岡出張所、武生東出張所（以上2018年3月より）
北海道銀行	木古内支店、今金支店、寿都支店、月形支店、長沼支店、芦別支店、赤平支店、 美瑛支店、天塩支店、羽幌支店、斜里支店、中湧別支店、広尾支店、足寄支店 （以上2018年7月より）

サポートオフィスによる営業店後方事務の集中化

対象業務例	受電、総給振資金管理、手形交換決済管理、諸届、反社先のチェック、普通預金新約時の住所登録、相続業務、差押、経費支払、後納手数料管理、伝票製本など
対象店舗	北陸銀行：全店 北海道銀行：31カ店（拡大中）
人員計画	2018年度までに両行で約280名をサポートオフィスに集約

営業店・本部人員数



営業店事務の本部集約を図り営業店人員は減少。全体の人数が増加したのは、個人ローン・預かり資産強化のため女性を中心に採用を行ったもの。



余力を活用し営業の強化へ

◆ コンサルティング能力強化

→FPやM&A資格取得促進、マネーアドバイザー(MA)や相続アドバイザーの育成

◆ 女性活躍推進

→女性の役席登用の推進、ワークライフバランスの推進

◆ 健康経営の推進

→健康経営宣言、メンタルヘルスセミナー、健康力UPキャンペーン



健康経営優良法人2018
大規模法人部門
(ホワイト500)
＜北陸銀行・北海道銀行＞



女性活躍推進法
に基づく認定企業
「えるぼし(2段階目)」
＜北陸銀行＞



次世代育成支援対策推進法
に基づく認定企業
「プラチナくるみん」
＜北陸銀行＞



＜健康経営優良法人ホワイト500認定＞

北陸銀行、北海道銀行は、頭取が健康管理責任者として、健康の保持・増進策に積極的に取り組む「健康経営宣言」を制定。2018年2月に経済産業省より「健康経営優良法人2018」に認定されている。

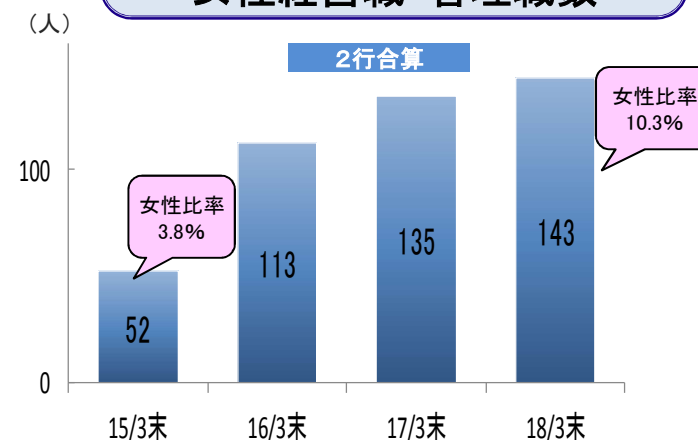
資格取得者数

2行合算

	18/3末	15/3末
FP資格保有者数(※)	3,639人	2,659人
中小企業診断士	25人	28人
農業経営アドバイザー	81人	73人
医業経営コンサルタント	4人	1人
医療経営士	33人	25人
M&Aシニアエキスパート	13人	5人

※FP資格…CFP、AFP、1級FP技能士、2級FP技能士

女性経営職・管理職数



◆ FinTech企業との連携によるサービス提供

→ロボアドバイザーによる投信相談、ビジネスマッチングシステムの提供
クラウド会計会社との連携

◆ FinTech企業の掘り起こし

→ビジネスコンテスト「X-Tech Innovation」開催

◆ 人工知能(AI)技術による分析データの活用

→AIを活用したマーケティングや文書解析の実証実験

◆ オープンAPIにかかる対応

→電子決済等代行業者とのAPI連携を可能とする体制整備を進める



＜投信ロボアドバイザーはてなくん(2017/7)＞



＜ビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2017」＞

北海道銀行は、ICT(情報通信技術)を活用した独自性・新規性を有する様々なサービスが誕生していることに着目し、業界・業種を横断した新しいサービス、ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテストをふくおかフィナンシャルグループ、沖縄銀行と共同開催した。



＜ほくぎんビジネスマッチング・システムの開発＞

北陸銀行は、リンカーズ(株)と共同開発した「ほくぎんビジネスマッチング・システム」の運用を開始。お取引先の販路拡大の支援ができるシステムとしてお取引先に無償でサービスを提供。

ESGへの取り組み（環境への取り組み）

◆ 環境に配慮した企業活動へのサポート

→エコ私募債、環境評価融資、エコリフォームなどの商品を通じた金利優遇などのサポート

◆ ペーパーレス化の促進

→満期案内等の郵送物廃止や、投資信託申込書類等のペーパーレス化

◆ 環境未来都市とのつながり

→環境未来都市や、SDGs未来都市認定を目指す地方公共団体との情報連携

◆ ESGやSDGsの行内周知

→行員向けにESGやSDGsに関するニュースを作成し周知を図る



<環境配慮優遇融資商品>

エコ私募債	環境に配慮した活動を行う企業を対象とした私募債で、通常の私募債より発行条件を優遇。
環境評価融資 「エコリード・マスター」	環境配慮型経営を行うお客さま向けの融資で、北陸銀行における環境評価格付に応じて金利を優遇する商品。
エコリフォーム	オール電化、太陽光発電など一定の条件を満たした環境配慮型のリフォームをするお客さまに対し、金利を優遇する商品を取り扱い。

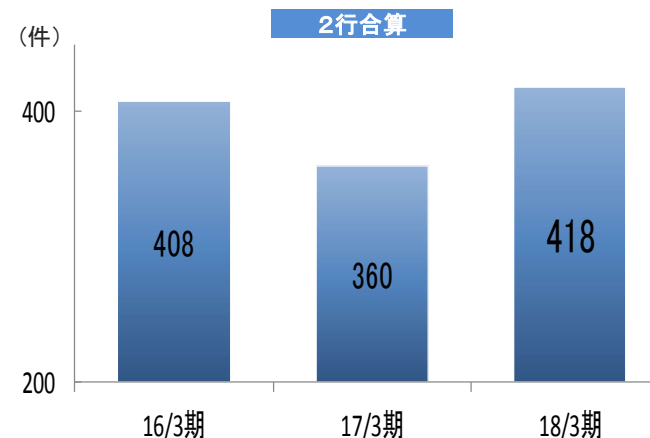
『環境行動指針』～北海道銀行

1. 環境に関する法規を遵守し、環境に配慮した地域活動を行います。
2. 役職員全員の環境保全に対する意識を高め、営業活動、日々の生活における環境負荷の低減に努めます。
3. 地域社会に対し、環境保全・環境改善につながる金融商品・サービスの提案を行います。



オリジナル環境キャラクター
「エコロDo」

エコ私募債取扱件数



ESGへの取り組み（地域社会への取り組み）

◆ 本業支援などの金融仲介機能の発揮

→地域のお取引先の支援を積極的に行い、地域活性化に貢献

◆ グループの幅広いネットワークの活用

→ビジネスマッチングや海外進出支援などを積極展開

◆ 海外駐在員事務所や地域商社を活用したグローバルネットワーク作り

→海外への販路拡大に向け、海外駐在員事務所や地域密着型総合商社と連携して情報を発信



＜地域商社を活用しロシアへの販路開拓＞

北海道銀行は、同行などが出資する地域密着型総合商社北海道総合商事(株)を通じて、取引先の販路拡大支援を進めており、北見産タマネギを2017年11月～2018年3月までに168トン輸出するなどの成果が出ている。



＜ビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸」＞

北陸銀行は、創業140周年プロジェクトの一環として、ビジネスコンテスト「ミライイノベーション北陸-New Design & Technology-」を開催。北陸の主要産業や地域社会の課題等をテーマとし、合計94件の応募から最終選考会において5先の受賞企業を選定。



＜国土交通省とのPPP協定パートナー就任＞

北海道銀行は、国土交通省との「PPP協定」パートナーに就任。社会資本整備のための資金調達等に関して、国土交通省と連携したセミナー開催などにより自治体や事業者役に役立つ情報の提供を行っている。

業績予想

2019年3月期 通期業績予想

<FG連結>	(億円)	
	19/3期 業績予想	増減額
経常利益	330	12
親会社株主に帰属する 当期純利益	210	△ 1

2019年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	44円00銭	44円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

(円)

	【2行合算】		【北陸銀行単体】		【北海道銀行単体】	
	業績予想	増減額	業績予想	増減額	業績予想	増減額
コア業務粗利益	1,280	△ 27	700	△ 12	580	△ 15
経費(△)	895	6	485	9	410	△ 3
コア業務純益	385	△ 34	215	△ 22	170	△ 12
与信費用(△)	50	44	30	11	20	32
経常利益	340	8	200	△ 41	140	50
当期純利益	230	△ 10	130	△ 27	100	17

<参考> 普通株式の配当額推移

11/3~13/3 期	14/3 期	15/3~16/3 期	17/3~18/3 期	19/3 期予想
37.50	40.00	42.50	44.00	44.00

- 2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。
(上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。)

中計項目の見通し

中期経営計画 “BEST for the Region” (2016年4月～2019年3月)

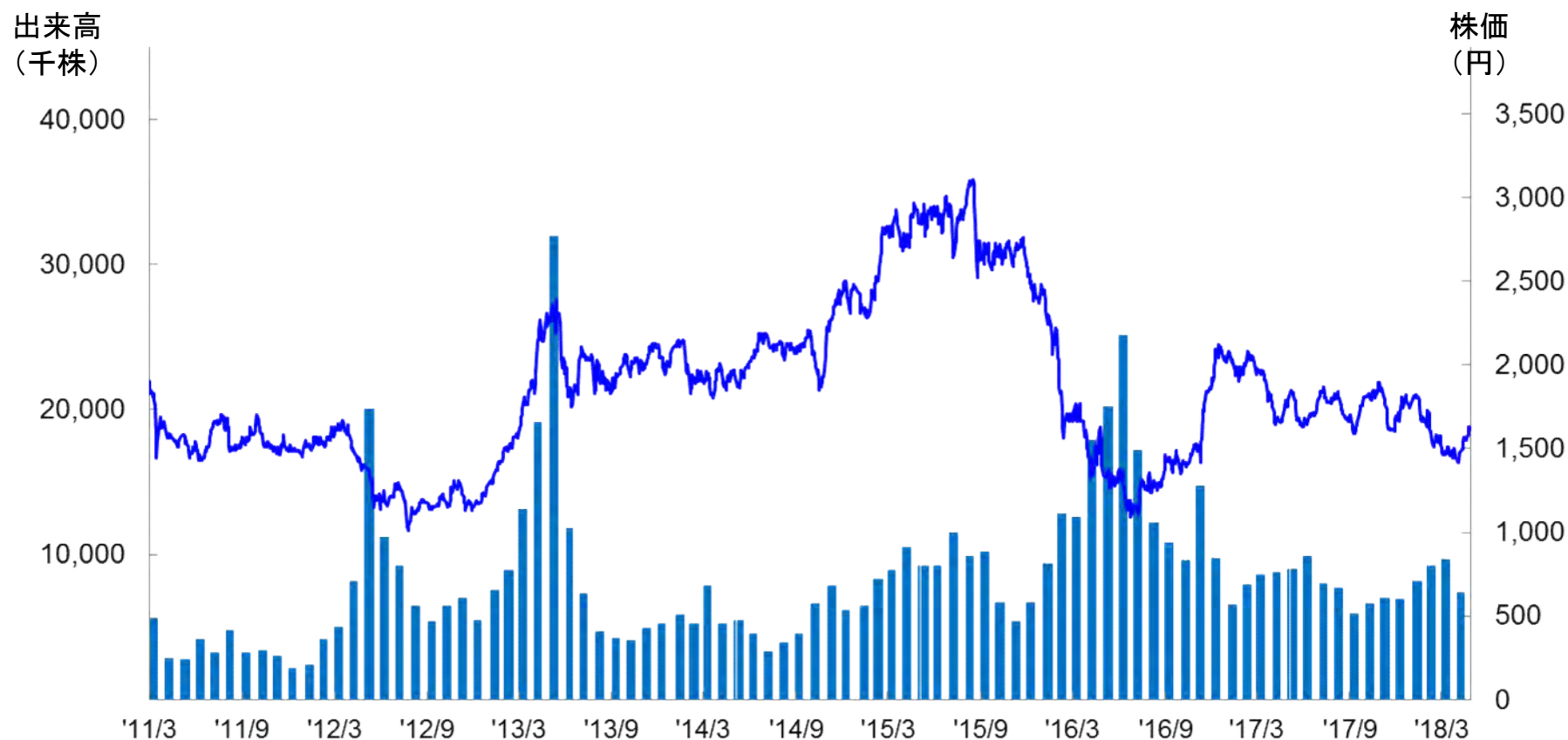
	17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 計画	19年3月期 見通し
預金平均残高 (除く譲渡性預金)	10兆4,096億円	10兆7,687億円	10兆5,600億円	10兆9,902億円
貸出金平均残高	7兆6,848億円	7兆9,616億円	7兆7,600億円	8兆2,259億円
コア業務粗利益	1,338億円	1,307億円	1,345億円	1,280億円
経 費	898億円	888億円	930億円	895億円
コア業務純益	439億円	419億円	415億円	385億円
信用コスト	△6億円	5億円	60億円	50億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	281億円	211億円	230億円	210億円
連結自己資本比率	9.43%	9.49%	9.55%	8%台後半
OHR (コア業務粗利ベース)	67.13%	67.89%	69.14%	69.92%

資料編



＜丸岡城＞

ほくほくFG株価の推移



	2011/3/31	2012/3/30	2013/3/29	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2017/9/30	2018/3/30
当社株価	1,620	1,580	1,900	1,980	2,680	1,480	1,747	1,810	1,443
日経平均	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	16,758.67	18,909.26	20,356.28	21,454.30
TOPIX	869.38	854.35	1,034.71	1,202.89	1,543.11	1,347.20	1,512.60	1,674.75	1,716.30

2016年10月1日付で、普通株式10株を1株とする株式併合を行っております。

主要経営指標の推移 (ほくほくFG)

(単位: 億円)

(ほくほくFG連結)	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期
経常収益	1,909	1,939	1,925	1,874	1,809
経常利益	494	481	464	394	317
親会社株主に帰属する 当期純利益	273	282	288	281	211
自己資本比率	12.31%	11.13%	10.30%	9.43%	9.49%

(2行合算)

コア業務粗利益	1,422	1,448	1,430	1,338	1,307
経費	940	936	909	898	888
コア業務純益	482	512	520	439	419
有価証券等関係損益	22	69	2	▲ 16	▲ 71
与信費用	▲ 13	60	37	▲ 6	5
経常利益	485	471	467	402	331
当期純利益	275	282	299	296	240
ROA(コア業務純益ベース)	0.44%	0.45%	0.45%	0.37%	0.34%
OHR(コア業務粗利益ベース)	66.08%	64.64%	63.57%	67.13%	67.89%
貸出金(末残)	73,363	75,617	75,996	77,883	81,894
預金(末残) 含む譲渡性預金	101,720	106,513	105,026	107,310	111,807
有価証券(末残)	24,814	24,814	23,958	24,393	19,433
金融再生法開示債権	2,013	1,892	1,686	1,562	1,475
開示債権比率	2.67%	2.43%	2.15%	1.94%	1.74%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

(単位: 億円)

	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期
経常収益	977	940	933	929	911
コア業務粗利益	770	765	753	729	712
経費	505	504	486	482	475
コア業務純益	264	260	266	247	237
有価証券等関係損益	16	36	4	3	21
与信費用	▲ 42	17	▲ 11	▲ 6	18
経常利益	304	245	267	248	241
当期純利益	178	146	165	187	157
自己資本比率	12.40%	10.61%	9.78%	8.74%	9.02%
ROA(コア業務純益ベース)	0.42%	0.40%	0.40%	0.35%	0.32%
OHR(コア業務粗利益ベース)	65.65%	65.94%	64.57%	66.12%	66.67%
貸出金(末残)	42,276	43,653	43,834	44,676	46,701
預金(末残)含む譲渡性預金	59,090	60,760	61,176	62,433	65,058
有価証券(末残)	12,383	12,754	13,439	14,576	13,171
金融再生法開示債権	1,203	1,097	977	891	863
開示債権比率	2.78%	2.46%	2.18%	1.96%	1.81%

主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位: 億円)

	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期
経常収益	802	854	855	789	782
コア業務粗利益	652	683	676	608	595
経費	434	431	422	415	413
コア業務純益	217	251	253	192	182
有価証券等関係損益	6	32	▲ 1	▲ 19	▲ 92
与信費用	28	42	48	▲ 0	▲ 12
経常利益	180	226	200	153	89
当期純利益	96	135	134	109	82
自己資本比率	10.76%	10.75%	10.23%	9.34%	9.28%
ROA(コア業務純益ベース)	0.47%	0.53%	0.52%	0.40%	0.36%
OHR(コア業務粗利益ベース)	66.60%	63.18%	62.47%	68.33%	69.35%
貸出金(末残)	31,086	31,964	32,161	33,207	35,192
預金(末残)含む譲渡性預金	42,629	45,753	43,849	44,876	46,749
有価証券(末残)	12,431	12,059	10,519	9,816	6,262
金融再生法開示債権	810	796	709	671	612
開示債権比率	2.52%	2.40%	2.11%	1.92%	1.66%

地域経済の状況

(2018年4月)

月例経済報告(内閣府)

地域経済報告(日本銀行)

全国

北陸

北海道

景気

緩やかに回復している

拡大している

緩やかに回復している

公共投資

底堅く推移している

増加している

減少に転じている

設備投資

緩やかに増加している

増加している

緩やかに増加している

個人消費

持ち直している

着実に持ち直している

基調としては回復している

住宅建設

弱含んでいる

横ばい圏内の動きとなっている

緩やかに減少している

生産

緩やかに増加している

高水準で横ばい圏内の動きとなっている

横ばい圏内の動きとなっている

雇用

着実に改善している

着実に改善している

労働需給は引き締まっている

消費者物価

緩やかに上昇している

上昇している

前年を上回っている

企業倒産

おおむね横ばいとなっている

落ち着いた動きとなっている

落ち着いた動きとなっている

※ 内閣府「月例経済報告」、日本銀行「地域経済報告」より

SDGs (エス・ディー・ジーズ)

ほくほくフィナンシャルグループは、持続的な成長と中長期的な企業価値の創出を達成するため、ESG(環境、社会、ガバナンス)の課題に積極的に対応し、その取組を開示していきます。また、国連が持続可能な発展のため2030年までに達成すべき目標として採択したSDGs(※)についても、当社グループの取組項目を開示していきます。開示にあたっては、国連が公開しているロゴを使用し、SDGsの17目標に該当する項目を表示します。

※SDGs…Sustainable Development Goals 2015年国連持続可能な開発サミットにおいて採択



Public Private **ACTION for Partnership!!**

～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです!～

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：大谷）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。